



現在、日本人の三大死因は、がん・心臓病・脳卒中となっており、いずれも生活習慣病です。

なかでも脳卒中（脳血管障害）は、ある日突然発病して、生命に危険を及ぼしたり、半身まひなどを起こしてその後の日常生活活動を損なったりする病気です。

脳卒中にならないようにするためには、早めに脳の異常を発見することが大切です。

昨年度に引き続き、本年度も前期・後期の2回に分けて脳ドックを実施します。なお、受診者の費用負担を減らすために、受診費用の一部を市が負担します。今回は前期分の募集です。この機会にぜひ脳ドックを受けましょう。

昨年度後期の申し込み状況は、安城更生病院1135人（応募倍率8.9倍）、八千代病院279人（同2.2倍）でした。

**検診期間** 6～10月

**検診場所** 安城更生病院 安城町、八千代病院（東栄町）

**対象** 40歳以上の市民で会社などで受診する機会のない人

問い合わせ  
健康課（市保健センター内）  
／ ☎ 76 1133



現在脳血管疾患で治療中の、体内に金属器具・ペースメーカーなどの入っている人は受診できません。

また、今年度から、当せんした年度を含め4年間は申し込みができません。

**定員** 250人（応募者多数の場合は抽せん）

**検診項目** 頭部MRI、頭部MRA、問診など

**個人負担金** 1万円

**申し込み** 4月7日（水）～20日（火）に市保健センターへ（電話申し込みも受け付けます）

**その他** 脳ドックには、検診日と結果説明日の2日間が必要となる場合があります。

4月7日  
から

脳疾患の早期発見と予防のために  
脳ドックの前期受け付けを開始します

4月1日  
から

人間ドック・基本健康診査・がん検診などの  
受診対象者、個人負担金などが変わります

## 1 人間ドック（会場／市保健センター）

	対象者	年齢	胃がん検診	個人負担金
人間ドック	国民健康保険加入者及び 社会保険の被扶養者	20～39歳	実施しない	6,000円
		30歳以上	実施する	8,000円
	社会保険の被保険者	20～39歳	実施しない	23,000円
		30歳以上	実施する	25,000円
レディースドック	国民健康保険加入者及び 社会保険の被扶養者	30～39歳	実施しない	8,000円
		30歳以上	実施する	10,000円
	社会保険の被保険者	30～39歳	実施しない	28,000円
		30歳以上	実施する	30,000円

20～29歳の胃がん検診は行いません。30歳～39歳の胃がん検診は選択制です。あなたが加入する健康保険の種類により個人負担金額が変わります。（社会保険の被保険者の場合は、事業主に健康診断の実施が義務付けられています）

ドック受診日に健康保険証の確認を行いますので、必ずご持参ください。もし、確認できない場合は、社会保険の被保険者の個人負担金額をお支払いいただきます。後日、保険証を確認した後、還付する必要がある場合は、還付手続きを行います。負担金額をお支払いいただけない場合は、検診をお断りする場合があります。

社会保険とは政府管掌健康保険、健康保険組合、共済組合などの健康保険をいいます。

## 2 基本健康診査・総合セット（会場／指定医療機関）

対象者及び 検診票の発行	国民健康保険加入者	基本健康診査検診票を個人あてに送ります。総合セットは電話連絡による検診票の発行ができます。なお、自宅への送付は数日を要します。
	社会保険の被扶養者	健康保険証を市保健センターへお持ちください。検診票をお渡しします。
	社会保険の被保険者	受けられません。（事業主に健康診断の実施が義務付けられています）

個人負担金の支払い方法が変わります。診査終了後、個人負担金（70歳以上無料）は受診した医療機関に直接お支払いください。個人負担金は各検診票に表示します。

## 3 各種がん検診（会場／指定医療機関）

検診の種類	胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、子宮がん、乳がん
申込方法	電話連絡により検診票を発行します。なお、自宅への送付は数日を要します。

個人負担金の支払い方法が変わります。診査終了後、個人負担金（70歳以上無料）は受診した医療機関に直接お支払いください。個人負担金は各検診票に表示します。

上記の人間ドック、基本健康診査、各種がん検診は重複して受けられない場合があります。詳しくは健康課（市保健センター内／☎ 76 1133）へお問い合わせください。